



社団法人日本フードサービス協会

JF ニュースレター

《 新型インフルエンザ対策 No. 2 》

2009. 4. 28

海外で新型インフルエンザが急拡大 正確な情報・知識に基づく 冷静な対応を

社団法人日本フードサービス協会
副会長・安全安心委員長 安部 修仁

世界保健機構（WHO）は、4月28日朝（日本時間）、世界的に広がっている新型インフルエンザについて、警戒水準をフェイズ「3」から「4」に引き上げると発表しました。

本日、別添の通り、豚肉の安全性に関する内閣府食品安全委員会委員長の見解が公表されました。それによると、豚肉・豚肉加工品を食べることにより、豚インフルエンザが人に感染する可能性はなく、豚肉・豚肉加工品は「安全」であるとされています。

会員各位におかれても、輸入品を含めた豚肉の取り扱いについては、店舗等で下記のような、豚肉の安全性に関する誤解や偏見が生じる告知や、表示等のないよう十分ご注意下さい。

- ①豚肉の安全性に問題があるような告知
例えば「安全性が確認されるまで豚肉メニューを見合わせます」
- ②安全性を理由とした豚肉・豚肉製品の販売停止
例えば「当店では〇〇産豚肉を使用しておりません」

協会は、今後とも正確な情報の把握に努めるとともに、事態の推移によっては協会が平成18年3月に発刊した「外食産業のための新型インフルエンザ対策行動計画」に基づく措置を適切に実施する所存です。また、関係官庁と情報共有しながら、正確な情報・知識の提供に努めてまいります。

※この件のお問い合わせは事務局：中井・田村までお願い致します。

豚インフルエンザに関する食品安全委員会委員長の見解

豚肉・豚肉加工品は「安全」と考えます。

- 豚肉・豚肉加工品を食べることにより、豚インフルエンザがヒトに感染する可能性は、以下の理由からならないものと考えられています。
 - ・豚肉は、従来から食中毒防止の観点から十分加熱するよう言われていること。
 - ・万一、ウイルスが付着していたとしても、インフルエンザウイルスは熱に弱く、加熱調理で容易に死滅すること。
 - ・万一、ウイルスが付着していたとしても、インフルエンザウイルスは酸に弱く、胃酸で不活化される可能性が高いこと。
- なお、CDC(米国疾病管理予防センター)は、豚肉を食べることにより感染するかどうかについて、「食品から豚インフルエンザウイルスは感染しません。豚インフルエンザは、豚肉や豚肉製品を食べることによって感染するものではありません。適切に取り扱われ、調理された豚肉製品を食べても安全です。中心温度71℃での豚肉の調理により、他の細菌やウイルスと同様、豚インフルエンザウイルスは死滅します。(仮訳)」としております。